

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和3年度
----	-------

後期（実績評価）

実施内容

一般介護予防事業の介護予防普及啓発事業におけるいきいき百歳体操の普及啓発や地域介護予防活動支援事業におけるふまねっとサポーター等への支援を通じ、介護サービスや介護予防・生活支援サービス事業の利用を促進することによって要支援状態の重度化を抑止すべき方々を抽出し、ケアプラン点検を積極的に行うなど自立に向けた介護サービスを推進し、介護認定の軽度化が進むよう推進する。

自己評価結果 ○

要支援認定率（①要支援1・2の第1号被保険者数／第1号被保険者数）
 （②要支援1・2の第1号被保険者数／第1号認定者数）

	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 7 年度
目標①（推計）				6.00%	6.50%	6.50%	6.50%
実績①	5.65%	5.52%	5.58%	6.39%			
実績②	28.3%	27.5%	28.0%	29.3%			

（実績：介護保険事業状況報告（各年度9月月報））

令和3年度の第1号被保険者に対する要支援1・2の第1号被保険者の割合が目標値を上回った。

認定者に対する要支援者の割合も前年度以前と比較して上回っている。

また、令和3年度の実績を3月月報とした場合、実績①が6.70%、実績②が31.2%と上昇傾向にある。

課題と対応策

結果として目標は達成しているが、これは、コロナウィルス感染症による臨時的取扱いにより更新申請を同じ介護度で12か月延長した影響もあると考える。（要介護度の高い高齢者が死亡し、状態の変化があっても区分変更をするほどではないという方々がおられたのではないかと推測）適切な介護度で適切なサービスが受給できるよう今後も務めていきたい。

また、コロナ禍で一般介護予防事業が思うように実施できなかったケースもあるが、今後その影響が目に見える形（認定者が増える、介護度が上がる方が増える等）で現れることも想定される。地域包括支援センターと連携し、予防に力をいれるとともに、地域ケア会議等通じて町内事業者と連携を図り、ケアプラン点検を積極的に行うなど、要支援状態・要介護状態の重度化を抑止したいと考える。